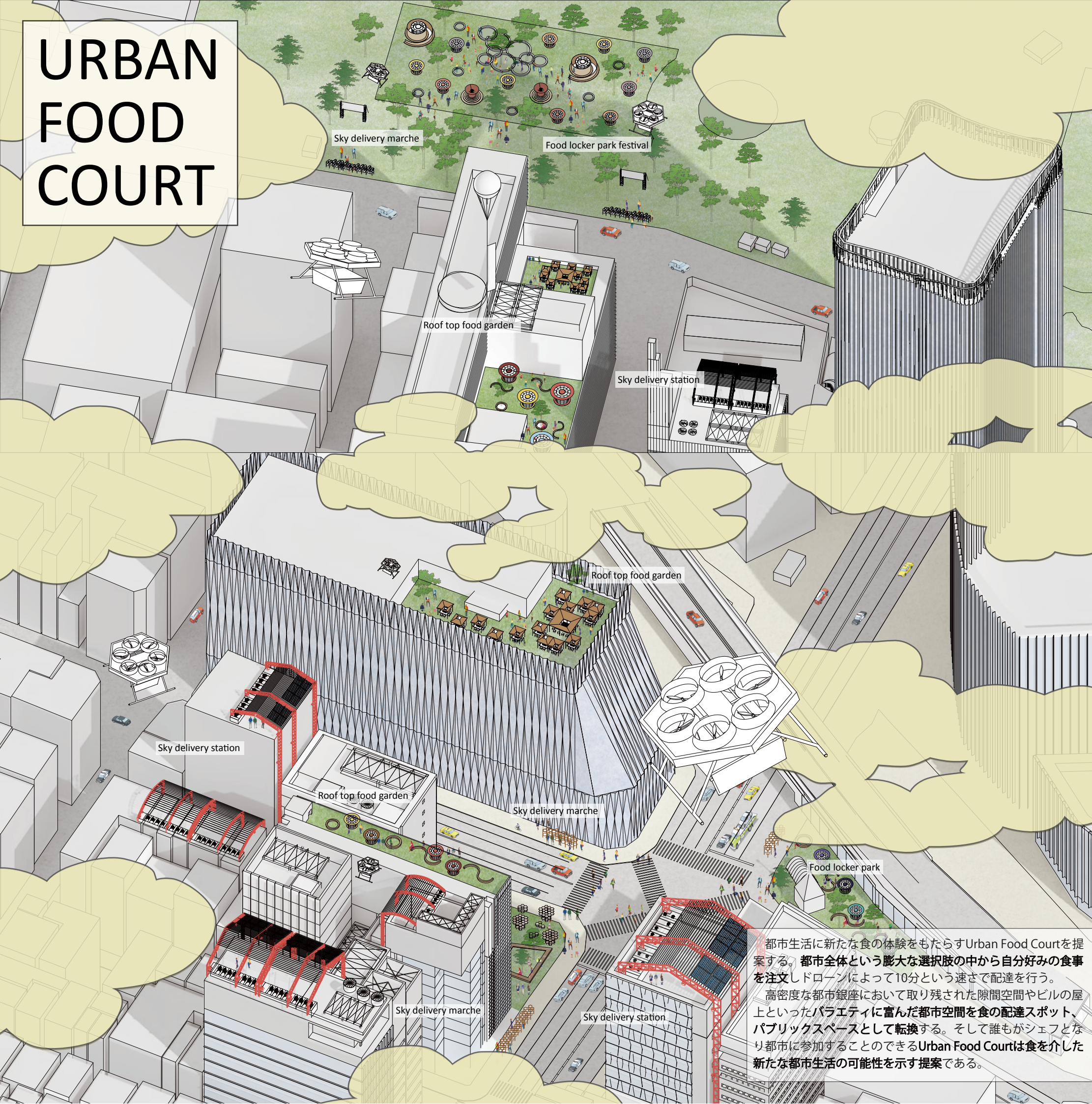




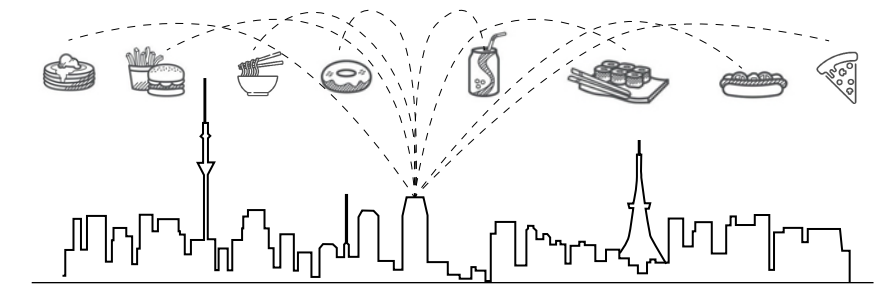
URBAN FOOD COURT



1.Urban food court

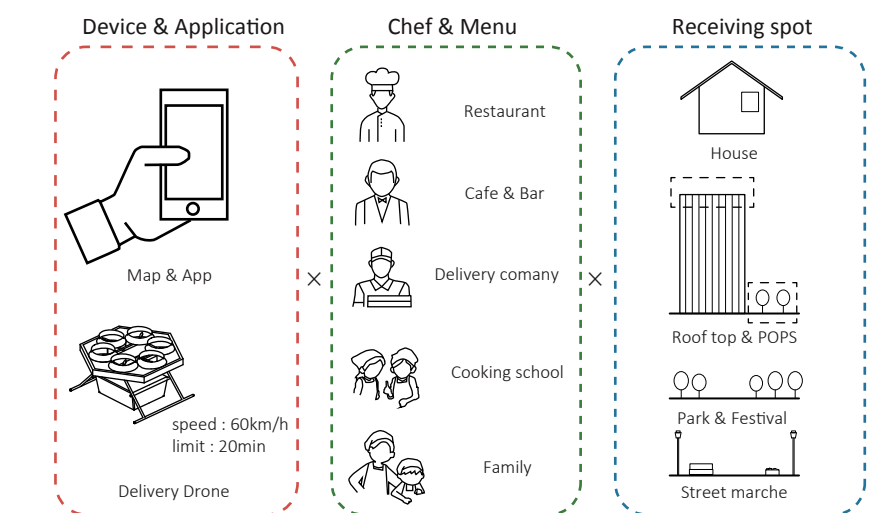
HUGE NUMBER OF CHOICES 10min DELIVERY

New food experience



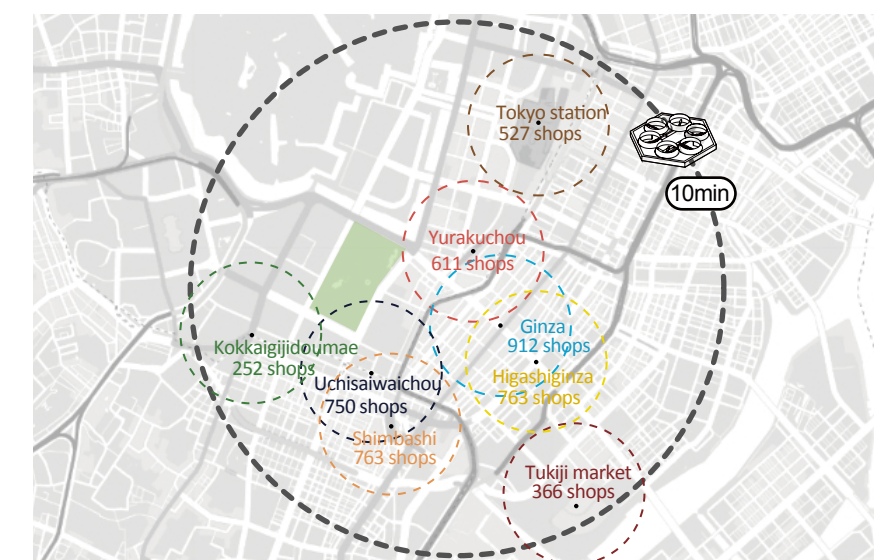
ドローンを使った新しいデリバリーは飲食店が多く建ち並ぶ銀座において、膨大な数の料理から好きな物を10分以内に配達することができる新たな食の体験を提供する。
都市全体に食の新たな可能性をもたらすUrban food courtを提案する。

2.Sky delivery system



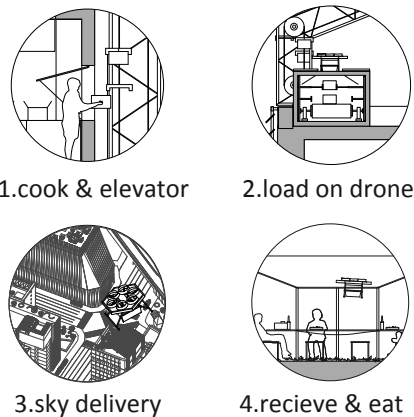
利用者はスマートフォンからお店とメニューを選び、ドローンが飛行できる20分圏内の都市の多様な空間の受け取り場所を指定します。このアプリによってシェフとしてレストランから個人まで様々な人がUrban Food Courtに参加し、より豊かな街を作りだす。

3.Site & Potential



東京23区の駅から500m商圈内の飲食店数のランキングの中で1位の新橋駅、2位の銀座駅をはじめ、銀座周辺は日本でも有数の飲食店の数と質を誇る地域であり、銀座の持つ食のポテンシャルを最大限に活かす提案である。

URBAN FOOD COURT



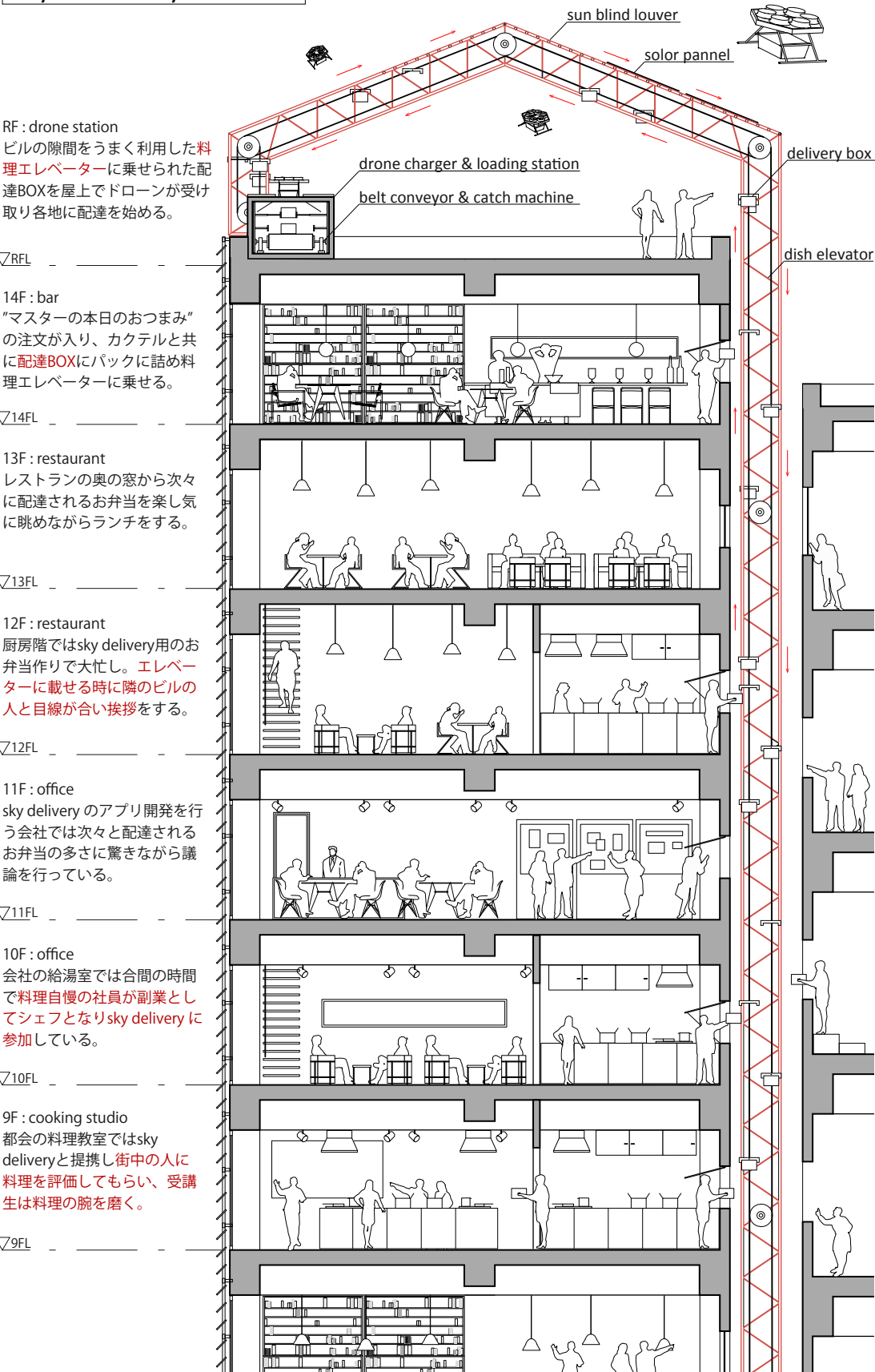
1.cook & elevator

2.load on drone

3.sky delivery

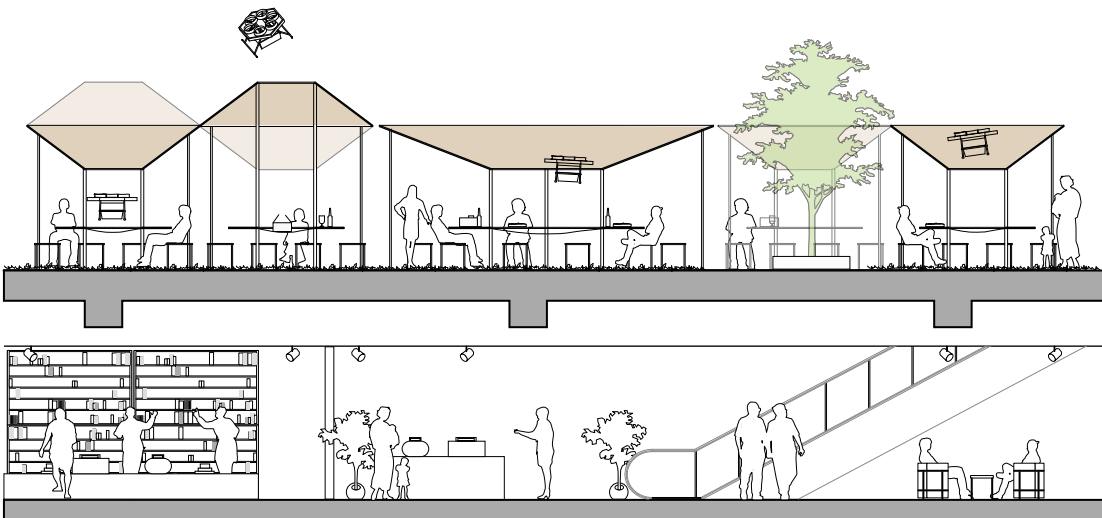
4.recieve & eat

Sky delivery station



Roof top food garden

近年多くのビルの緑化やスカイデッキといった屋上の有効利用が進んでいる。このUrban food courtでは屋上利用の一つの可能性として**ドローン配達**のスポットと**食事場所**を提供する。口の字型に穴が開いたシンボリックな屋根からドローンが運んできた食事をドロップする。様々な人が偶発的に出会い、共に食事を楽しむことで新たな交流を生む。



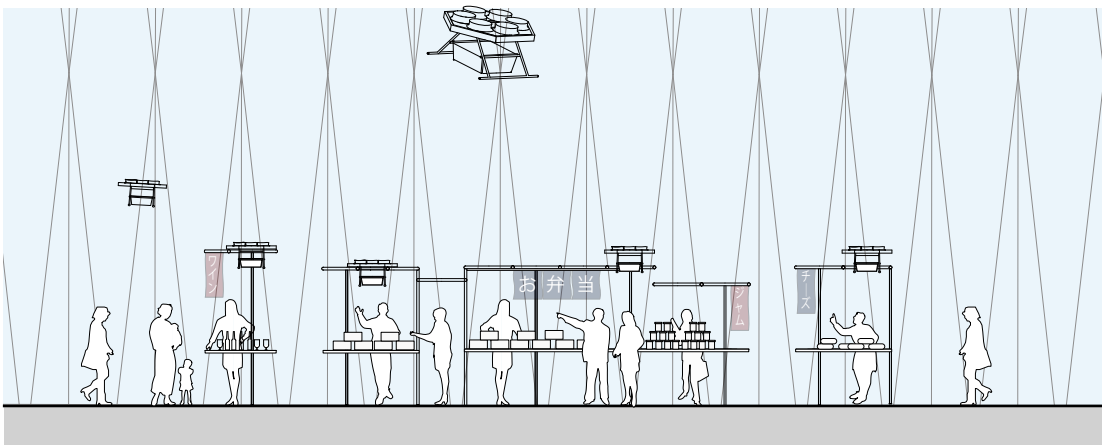
Food locker park festival

ドローンの配達スポットとして**コンパクトなFood locker**を提案する。ドローンは指定のロッカーにお弁当を配達し、その場所をスマートフォンに知らせることでユーザーはお弁当を手に入れることができる。公園では様々な形のFood lockerをfood truckの代わりに利用する次世代のフードフェスティバルが開催される。**コンパクトなため公園全体を広く使うことができ、パブリック性を高める効果が期待される。**

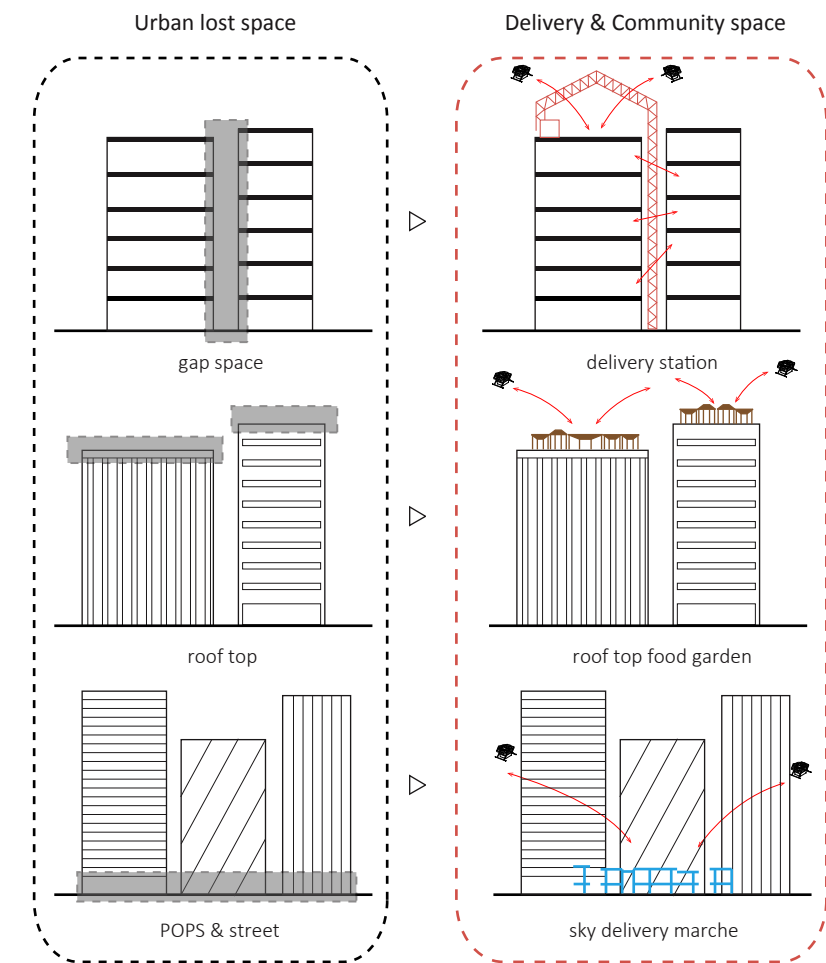


Sky delivery marche

さらにコンパクトなドローンの配達スポットとして屋台を提案する。この**屋台ではドローンの配達を利用したコンパクトなマルシェ**が開催される。通常のマルシェと違いコンパクトにそしてゲリラ的に行うことができる。屋台はパイプにより**六角形のハニカムの形**で構成されており、ドローンを屋根に配置することや、屋台同士を面的に連ならせることが可能である。**週末の歩行者天国や国際マラソン**といった機会に次世代のマルシェは活躍する。



4.Convert urban lost space



ビルが立ち並ぶ**高密度な都市**が生み出した**Lost space**を、**配達の拠点へと有効活用**すると共に、**コミュニティを育むパブリックスペースへと転換**することで、都市全体を良くする仕組みがUrban food courtである。

5.Public space x Urban food court



高密度な都市構造が生み出した、屋上緑化やPOPS、歩行者天国といった**バラエティに富んだ形をもつパブリックスペース**と**フードデリバリー**のコラボレーションは**新たな都市生活の可能性を提示**する。